

クイックガイド

機体搭載

搭載方向があるので注意してください。 取説「2. 機体局 (RTCU) の搭載方法と電源」参照

電源電圧

機体局 (RTCU) はLifeまたはLipoの2セル
地上局 (RTCG) はLipo 1セル 取説「3. 地上局 (RTCG) の電源」参照

電源投入

投入順は有りませんが、GPS受信に時間がかかる機体局 (RTCU) を先にONするのが普通です。

ペアリング

機体局 (RTCU) と地上局 (RTCG) でペアリングを行います。
その後、他の地上局 (RTCG) の電源を投入してもペアリングされません。
ペアリングしている地上局 (RTCG) だけが、機体局 (RTCU) の設定変更などの制御が可能です。
ペアリングしていない地上局 (RTCG) でも傍受は可能です。
ただし、ペアリングしている地上局 (RTCG) で開いているページに応じて送信するデータを限定しているので同じページを開くようにしてください。

飛行可能判定

各種センサーが機能開始し飛行準備が完了するまで飛行開始を待つ必要があります。
飛行準備が整う前に飛行を開始すると、位置情報が正確に取得できないことが有ります。
特に当日の初回はGPSの衛星補足に時間が掛かるため空のひらけた場所に移動してください。
飛行準備が整うと「アーム、飛行可能です」と音声で伝えます。

センサの故障や磁気異常があると、いつまでも飛行準備完了になりません。
この場合は、「1. SYSTEM」画面で異常箇所を特定し、解決する必要があります。

飛行場選択と設定

「5. Flight field」画面から飛行場の選択と飛行場情報の設定を行います。
飛行場情報の設定は、パソコンを使って”field.csv” ファイルを編集する方法と、
パソコン無しで、現地で設定する方法があります。
ココでは、初期状態でご自身の飛行場が未登録でパソコンを使わず現地で設定する方法を
紹介します。
機体局 (RTCU) のGPSを使用するので、飛行可能状態あるいは、水平位置精度 (hAcc) が2.5m
未満になってから実施してください。

- ① 5. Flight field」画面を開く
- ② 反転カーソルが飛行場名選択の位置にあるので、このまま [Exec] を押し、編集モード (背景紫) にする。
- ③ [+up], [-down] で “HOME” を選び、[Exec] を押し、編集モードを終了する。
- ④ 機体をパイロット位置に持っていく。
- ⑤ 反転カーソルを “Pilot” に移動し、[Exec] を長押しすると、“UAV Current position” の値がRTCG のところにコピーされる。
- ⑥ 機体をパイロットとセンターの延長線上の可能な限り遠くに持っていく。(遠いほど偏角誤差が減る)
- ⑦ 反転カーソルを “Center” に移動し、[Exec] を長押しすると、“UAV Current position” の値がRTCG のところに コピーされます。
- ⑧ 反転カーソルを 最下段の “UAVparam.txt DL RTCG --> RTCU” に移動し、[Exec] を長押しすると、データが機体局 (RTCU) にダウンロードされ、RTCG と RTCU の座標が一致します。

水平キャリブレーション

- ① 1. SYSTEM 画面から ARMING: をDISARM にする。
- ② 機体を水平にする。
- ③ 4. Attitude画面の 「IMU Zero」 ボタンを押す。
- ④ ①の逆にARMしても良いし、以下のように機速が18[km/h] 以上になると自動ARMします。

飛行

「2. Distance」画面を開きます。
演技名をガイドさせたい場合は、 [Maneuver] を長押しし、離陸方向を選択します。
飛行を開始し、機速が18[km/h] 以上になると、自動的にARM、FCログ・RTCログを開始します。
着陸後、機速が9[km/h] 以下になるとRTCログ、FCログ共に終了します。

データアップロード

「7. Log Files」画面から機体局 (RTCU) のRTCログファイルを地上局 (RTCG) のSDカードに

無線でアップロードできます。
アップロードしたファイルは、フライトコーチのプロッタで表示することが出来ます。
「7. Log Files」画面で管理できるファイルは36です。機体局 (RTCU) のRTCログファイルは36を超えないよう定期的に整理してください。

プレイバック再生

「7. Log Files」画面から「2. Distance」、「3. Altitude」、「4. Attitude」のプレイバック再生も可能です。
飛行中は見る事が出来なかった、地上局 (RTCG) の画面を見ることが出来ます。
プレイバック再生は、飛行中と同様に機体局 (RTCU) から電波を出しませんので、他の人がリアルタイムコーチを使っているときは控えてください。